



3月24日に川辺堀之内地区で行われた、国道20号バイパス開通式



電線の地中化と歩道の整備が終わった日野駅東側道路

平成19年度一般会計予算に対する 各会派の総括意見

平成19年度一般会計予算に対する各会派の意見表明が3月28日に本会議場で行われましたので、その意見の内容(要旨)を紹介いたします。下表は予算案に対する会派の態度表明です。

...賛成、×...反対

	自民クラブ	公明党	市民クラブ	日本共産党	無会派
原案				×	2人 ×1人

平成19年度一般会計予算は、515億円で前年度当初予算に比較して、5.4%増であります。2年連続の増額予算となっております。歳入では、市税が、全体で298億4千324万円となり、前年度比10.9%増のプラスに転じたこと、また職員退職手当基金の繰り入れによる繰入金も増額の要因の一つであります。しかしながら、借金を未来に残さないという観点から、赤字公債を積極的に削減する方針を今後も堅持することを願っています。

歳出は、第3次日野市行財政改革大綱や集中改革プランに沿った行財政改革遂行型予算を基調として、引き続き子育て支援サービスの充実や健康づくり推進事業の推進、学校環境の整備や障害者支援サービスの充実、道路の整備、食育の推進など、重点を置いた予算配分となっております。日野市の重点事業に積極

馬場市政が誕生して10年が過ぎ、平成19年度一般会計予算には、新たなまちづくりの始まりにしたいという思いが込められています。

歳入は、市税収入が、個人市民税で前年度比16.5%、18億5千833万円増、法人市民税が、前年比27.1%、6億191万円の増と改善しておりますが、財政状況厳しい折、より一層の財源確保のための努力を、全庁挙げてお願いします。

歳出は、18年度当初予算と比較しますと、教育費、総務費、衛生費が増、民生費、土木費、消防費が減、公債費は同じとなっております。

いかに最小の経費で最大のサービスが市民に提供できるかが問われている中、めり張りをつけ優先順位に考慮した予算編成となっているものと評価いたします。

市民クラブ 賛成

赤字公債の削減方針を堅持し、行財政改革遂行型予算の推進を

的に取り組む予算として評価できるものであります。

総務費では、ドライブレコーダーの設置が予算化され、庁用車の交通安全対策の新たな施策として評価するものですが、これまでの交通事故発生状況のデータを分析して原因を抽出し、新たな施策展開へ結びつけることを要望いたします。

衛生費ですが、小児救急の拡充については、引き続き緊急課題として取り組んでいただきたいと考えています。

教育費では、教育内容の充実に向けて、学校ICT活用教育の環境整備が進んでおり、新たな教育方法として期待の高い事業です。また、図書館の無休化については、今後も引き続き検討をお願いいたします。

以上、要望も添えて、市民クラブの賛成意見とさせていただきます。

自民クラブ 賛成

新たなまちづくりへの姿勢と優先順位を考慮した予算を評価

今年度市政のメインテーマは「芸術文化の薫るまち」であります。年末に開催が予定される第九の合唱は、市民直接参加型イベントであり、参加者が芸術文化のすばらしさを実感し、感動をする事業と評価します。

市長は、サブテーマを「子育てと健康の要は、食育にあり」とし、食育推進に積極的に取り組むとしています。とりわけ朝ご飯の重要性や食事時の家族との対話を重視、推進することは共感するところです。多くの人に語りかけていただき、(仮称)食育推進計画・食育推進条例制定に向けて、邁進していただきたいと思っております。

以上、自民クラブが予算要望した施策が随所に反映されており、来年度のまちづくりに寄与できたと考えています。今後も市民のニーズにこたえるべく努力をお願いいたします。

2007年度日野市一般会計予算は、歳入歳出515億円と、当初予算としては初めて500億円の大台を超えるものとなりました。歳入では、景気回復に伴う法人市民税が6億円の増、固定資産税、都市計画税の増が4億円に対し、昨年から実施された各種控除の廃止など、高齢者への課税強化による税収増は、今年度2億9千万円に上ると見込まれています。

歳出では、小・中学校の建設費が、前年度比50%の大幅増となっております。学校校舎の耐震補強工事の完了を評価するとともに、引き続き屋内運動場の耐震補強、トイレの改修など環境整備を急ぐよう要望いたします。

もう一つ予算の伸びが目立つのは、団塊世代の職員の退職者がピークを迎え、退職手当が前年度比23倍の9億2千万円が計上されていることです。全体の

我が国の経済は、自民、公明の連立政権が進めた構造改革による順調な景気回復が続き、設備投資も堅調であります。その中、日野市の平成19年度一般会計予算案は、初めて500億円を突破した予算となっております。

歳出では、子育て支援、教育関連事業など直面する諸課題への取り組みに加え、まちづくりの基盤整備にも適切に予算を配分されています。

また、第3次日野市行財政改革大綱実施計画を策定し、財政健全化に向け、さらに着実に取り組んでいることなど、大いに評価するものです。

賛成する主な理由は、第1に、まちづくりの推進です。市民の安全安心を守るため、また、防災の観点でも、道路整備などを含んだまちづくりは重要なものであります。

第2に、市民の健康福祉につ

日本共産党 反対

住民の福祉の増進が自治体の役割。慎重な行財政運営を求める

奉仕者としての経験、知識の蓄積がしっかりと継承されるよう願うものであります。

こうした中、今、日野市は財政運営をめぐって、「住民の福祉の増進」という自治体の大道を歩むのかどうかという大きな岐路に立たされていると考えます。福祉や医療、教育や子育て支援など、行政需要の増大は必ずであり、慎重な行政運営が求められるところです。私もが予算組み替え要求の中で、七生支所の移転に伴う施設借上経費や市民の森ふれあいホール設計費の削減を要求したのもそうした理由からです。特定の施設だけに予算を使つて、他にしわ寄せがいくことはないのか等を再検討し、また、第4次基本構想の精神に立ち返って地域住民との情報の共有化を図り、問題の解決に当たられるよう強く要望し、意見とさせていただきます。

公明党 賛成

名実ともに「日本一の子育てしやすいまち」を目指して前進を

いです。百草園駅前ミニ子育て応援施設の設定、延長保育の取り組みや、支えの必要な子どもたちのために、「そだちあい」事業の導入など、充実した事業の取り組みが行われております。今後さらに、義務教育終了までの子どもの医療費無料化に向けて、大きく前進して名実ともに「日本一の子育てしやすいまち」を目指していただくことを要望いたします。

第3番目に、教育費についてです。放課後子どもプランについては、三多摩26市中、いち早く小学校全校で取り組んでいることを高く評価いたします。

今後、必要な行政サービスを提供するためには、引き続き、財政構造改革を強く推し進める必要があります。そのためには、公明党が提案している新公会計制度の導入を要望して、意見とさせていただきます。